

インタビュー 作家・羽生道英^{はぶ みちひで}さんに聞く

脇役を歴史の表舞台に甦らせて

東近江市にお住まい羽生道英さんは、『佐々木道普^{ささき とうよ}』（PHP研究所）や『商人道おもしろ史話^{あきやまごねゆき}』（毎日新聞社）などの、近江商人や滋賀県の歴史上の人物を取り上げた作品や、『秋山真之^{あきやまごねゆき}』（学習研究社）『藤堂高虎^{とうどうたかとら}』（PHP研究所）といった、参謀役やナンバー2といわれる人物をクローズアップして、影の人物を主役とした作品を発表されてきました。

こうした歴史上の人物を描く上で、史実調べは欠かせないものです。当館へも取材にお越しになる羽生さんに図書館との関わりや、滋賀県と文学について語っていただきました。

「私は人を褒めることが好き。」

作品作りで心がけておられることは。

私は人を褒めることが好きで『吼えろ一豊』を書いた時に滋賀県にいる末裔の方から、「妻のおかげで偉くなったように言われている一豊を褒めてもらって、これまでのイメージを払拭できました。」と言ってもらいました。一人でもそういうふうにしてもらえる人がいたらいいと思っています。

作家の中には人の欠点を書く人がいるがあれはよくないですね。人間ひとつはいいところがある。それを褒める。私はこれからも登場人物を褒めていきます。（2面へ続く）

INDEX

（特集）インタビュー 作家・羽生道英 ^{はぶ みちひで} さんに聞く	1～3面
湖国の本棚	3面
郷土資料紹介	4面

図書館の催し

おはなし会

10月18日（水）・11月15日（水）

午前11時と午後3時の2回 1階 談話室にて

資料の展示

季節や時事ニュースなどをテーマにして、二週間毎に展示替えをしています。

2階 一般資料室にて

文化の日 文化ゾーン探検隊

11月3日（金）文化の日 （詳細は、ちらしなどでお知らせします。）

「歴史小説の魅力は虚構の中で いかにリアリティーを出すか。」

歴史小説を書く醍醐味とは何でしょう。

時代小説は、事件や史跡・年表などに関係なく作品を書くことができますが、歴史小説はどうしてもそれらをゆるがせにすることができません。

有名な人物の影に隠れて主役以上の働きをした人物を取り上げて、事実を踏まえた虚構の部分でいかにリアリティーを出すかがポイントになります。

そういう苦労をしながらも、歴史小説の魅力は、史料が少ない人物や事件の史実以外の部分を自分なりに解釈して、想像して書くことができます。基本的には、人物のエピソードに力を入れて書いて行き、自分の思い通りに創作する楽しみがあります。

ある人から、『先生の作品には報恩の精神がありますね。』と言われたことがあります。先人には必ず見習うところがありますが、先人には必ず見習うところがあります。そのよいところを取り入れて行き、先人の恩に報いて行きたいと思っています。

作家になられたきっかけは何ですか。

昭和 53 年に、職場の機関紙に懸賞募集があって、応募したのがきっかけです。ちなみにその時の選者は村上元三さんでした。

最初は佳作（第 2 位）で、二年後に再度挑戦してトップ入選を果たしました。

また、びわ湖放送の仕事が縁で作家の徳永真一郎さんと出会ったことも、作家の道へと進むきっかけになったと思います。



滋賀県文芸物出版賞（平成 4 年）・滋賀県文化功労賞（平成 16 年）受賞 著作：全作品当館に所蔵しています。

もともと文章を書くことは小さい時から好きで、小学三年生の時、担任の先生から『物語などを上手に語ったり、短文をすらすらつくることができます。これには本当に驚いています。』と褒められました。これがずっと意識の中にあっただけです。

「滋賀のいいところを、探し出して それを顕彰しよう。」

滋賀県のお好きなおところは。

湖東三山周辺や彦根・長浜が好きです。私は大阪で生まれ育ちましたが、現在は滋賀文学散歩の会の会長をしていることもあり、滋賀県のいろいろなところへ行きます。県内すべて、歴史があり、景色がよい。滋賀県は文学や歴史の宝庫です。天智天皇が近江に遷都したのは、京都（平安京）より前のこと。万葉集をひもとけば、志賀の里や近江のことが沢山出てきます。瀬田の唐橋など壬申の乱よりずっと前からあるのに研究が進んでいない。そういうものを表に

今月のBOOKまーく 「特別整理期間」って何をしているの？

とお思いの方も多いのではないのでしょうか。一番大きな作業は蔵書の点検、いわゆる「棚卸し」で、本のバーコードを一冊一冊端末に読み込み、蔵書をチェックします。

もちろんそれだけではありません。書架の配置の変更や、書庫内の書架整理、各種サインの更新や施設の修理・清掃など、日常業務中には出来ない作業をこの期間にまとめて行います。また、ラベルなどが汚れていないか、頁が破れたり、はずれたりしていないかなど、資料の状態も確認して、必要であれば修理などを行います。

どの作業も皆様に資料を確実にお渡しするために、また気持ちよく資料をご利用いただくために必要な作業です。今年の特別整理期間も終わりました。リフレッシュされた書架で皆様のご利用をお待ちしています。

出していけば県民の方にも歴史小説に興味を持ってもらえるのですが、今はネタがないから書けません。大学の先生などに研究してもらえると今後の作品作りの素材となるので、誰か本にしてくれることを期待しています。

滋賀のいいところを探し出して継承していくという運動をしたらどうかと思っているのですが、ここに碑を建てよと言われても一人ではできないことも二人、三人、百人となって推進していけば事業として実行できることが沢山あると思います。

「滋賀に生まれ育った人に、もっと滋賀のことを書いてもらいたい。」

県内の若い文学者に期待することは。

私は滋賀文学会で長い間小説部門の選者としてかかわってきました。現在は会長を務めていますが、近江商人と同じで、鮎が育って下って行くように外に出て活躍している人が多いけれど、生まれ育った人に滋賀のことをもっと書いて欲しいと思います。昨年は、高校生からの応募があり上位に入賞しました。滋賀文学界の登竜門となっていくように今後もPRをしていきたいと思っています。

作品を書かれるとき、どのように図書館をお使いいただいていますか。

先ごろ『小説・織田三代記』を書き上げました。織田信長に関する史料は沢山ありますが、父親の信秀の史料は少なく、子供の信忠、信雄、信孝の史料も本当に乏しいのです。そんな時、資料集めのために訪れた県立図書館でよい資料を紹介してもらって大変助かりました。いつも事実確認のためによく利用しています。

これからも、どうぞご利用ください。本日はどうもありがとうございました。

インタビューで一番印象に残った事は、「いいところが人間には必ずある。そしてそれを褒めていく。」と言うお話しでした。歴史上の人物に対する視線の深さを感じ、インタビュー中もそういうお気づかいが感じられました。歴史の影に埋もれた人物を甦らせてこられた羽生さんによって、次に甦る人物の出現にこれからも期待が膨らみます。 (文責 奥田)

湖国の本棚



滋賀県で大切にすべき野生生物

- 滋賀県レッドデータブック

2005年版

滋賀県生きもの総合調査委員会編

サンライズ出版 2006.3

本県における絶滅のおそれのある野生動植物の現状を明らかにしたデータブック。

植物、哺乳類、鳥類などの分類ごとに、絶滅危惧種、絶滅危機増大種、希少種から、県内で大切にしたい郷土種まで9つのランク付けがなされた選定種は、全1,270種。それぞれに選定理由、各掲載種の概要、生態・分布、特記事項、文献が記載されています。

ついこの間まで見かけた気がする植物や昆虫が、美しいカラー頁に、取り上げられていて、愕然とする方も、多いのではないのでしょうか。

古来、多様で豊かな自然に恵まれた滋賀県を将来の世代に引き継いでゆくため、身近な環境を見直すと共に、保全・再生を図る方策の必要性が、緊迫して感じられます。

今年の読書週間は “しおりいらずの一気に読み”



今年の「読書週間」(10月27日～11月9日)にちなんだポスターは右の写真に決定しました。

主催者の読書推進運動協議会がイラストと標語を一般公募し入選作品をポスターにして読書週間に彩りを添えています。

60回目を迎える今年の標語は、応募数2,161点から秋山博之さんの作品「しおりいらずの一気に読み」が選ばれました。いろんな本を読み漁る娘さん(5歳)の姿を見てこの作品ができたそうです。

秋深くなる季節にお気に入りの本を探しに、図書館にお越し下さい。

FLASH ぶらっシュ



今年も好評 文化ゾーン子ども探検隊

8 / 4 (金)

子どもたちにもっと文化ゾーンを知ってもらおうと、文化ゾーンの各施設と東大津高校で、3年生以上の小学生を対象に開催。図書館での探検は、それぞれ受け取った指令書に示された本を書庫の中から探し出すこと。子どもたちは普段入れない書庫に入りたくさんの本の中から見事、本を見つけて笑顔を見せてくれました。

今月のデジタルアルバム帖



10月 「甲賀の名産」

10月は9月に引き続き、「滋賀県管下近江国六郡物産図説」から土山黒滝の鉱山、石部の銅山、水口の伴中山の白土などを紹介します

11月 「大津事件」

明治24年(1891年)5月11日、来日中のロシアのニコライ皇太子が、大津で巡查の津田三蔵に斬りつけられる、いわゆる大津事件が起きました。11月はそれに関する資料を紹介する予定です。

館内でお使いいただけるカートをご用意いたしました。



1階貸出カウンターに設置しております。障害をお持ちの方やご高齢等で必要とされる方は、お気軽にお申し出下さい。

郷土資料紹介

(平成18年7月～8月購入・寄贈分)

中江藤樹
道に志し孝を尽くし徳を養う生き方
久保田暁一著 致知出版社 2006年

中江藤樹と大溝藩
松下亀太郎著 吉川治先生記念会 2006年

月輪史
月輪史編纂委員会編刊 2006年

まがりおの里 大曲
大曲町誌編集委員会 大曲自治会 2006年

田中孫作の里 高溝 山内一豊・千代の忠臣
高溝孫作会編刊 2006年

高島の山城と北陸道 城下の景観
第12回 全国山城サミット記録集
高島市教育委員会編
サンライズ出版 2006年

琵琶湖一周歩き旅
“湖の辺の道”古娘二人とおじさんと
山田栄千子著 新風舎 2006年

松本義懿教育選集
松本義懿著 中江彰編
吉川治先生記念会 2006年

経営に大義あり 日本を創った企業家たち
日本経済新聞社編
日本経済新聞社 2006年

番場ふるさとの昔話
番場ふるさとの昔話採集者一同編
佐々木洋一画
滋賀県米原市西番場区 2006年

絵画のなかの子どもたち
歴史の裏庭にけなげに生きた者たち
苗村久恵著 文理閣 2006年

湖西風景写真コンテスト 滋賀県高島市
湖西風景写真コンテスト運営委員会編刊
2006年

遊子 村島典子歌集
村島典子著 柊書房 2006年

泰山木 句集
平塚正子著刊 2005年

シルクロード巡礼の旅
中川平三郎著刊 2006

どこかへ行きたいなあ
青春18切符の小さな旅
片岡幸枝著 堀尾庄太郎刊 2006年

世界企業への道 ダイキン工業80年史
日本経営史研究所編
ダイキン工業 2006年